京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城新報社 京城西署西小門通（電話七六六三）

漁民衛生狀態（二）

（三）花柳病　花柳病中最も多きは淋毒次して之は軟下疳硬性梅毒なり之れは何縣の漁夫に多く何の方面に多きか詳細は不明なれども概して見て調査するの必要あり韓國は一般に淫賣婦跋扈し隨つて是等の檢梅的健康診斷の制ありと雖も田舍に於ては適當の醫師なく已むを得ず現地開業醫に任せたる處に於ては全く是等の設備なく例へば欲知島、蛇梁島の如き出稼淫賣にして不備極まれり元來健康診斷の費用は從來の慣習上娼婦の負擔となり抱へ主は只監督の位置にあるのみ畢竟弊害の多き所以なり由來女子の下疳は交接に不可能なる程疼痛を感ぜざれば相變らず其職業を取る爲め遂に其の傷害を蒙るものなり是等は一般に普通の健康診斷をし治療を加ふるも一定の場所に收容して嚴格なる監督の下に治療せざれば到底完全なる豫防をなす能はず尙ほ娼婦をして自衛の道を講ぜしめ清潔的に勵務を取らしむる事も肝要なりとす

（四）眼病　眼病中最も多いのは結膜炎にては次は角膜炎にて其他の眼疾は甚だ稀なり結膜炎の多きは太陽光線の水面に反射して眼目を刺激すること劇しく所謂積雪の時結膜炎を發するもの多きと同一原因なり尙ほ漁夫にありては其際己の手特に海水鹽類の附着したるまゝ眼を拭ひ摩擦するが爲めに鹽類の刺激に依て一層其素因として甚しきものなり或る時はトラホーム症を見るも特發と云ふ徑路は見出す能はず

（五）傳染病　傳染病中に七、九月、十月十一月は釜山港に虎列剌多く一昨年の如き全患者四十六名内漁夫三十六名死亡漁夫のみ三十名の大多數を占めたり而して一昨年の傳染徑路に遺憾ながら不明にて鰮より起れりとの說あり一應調査せしも結局不明に終れり海水鹽分含有の關係に於て黴菌存在する事ありと云ふに依り釜山港潮流の最も緩慢なる處を撰び數ケ所の海水を取り黴菌培養試驗を行ひしに是亦不結果に終れり或は加德島附近に於る飲料水檢査或は蔚山方面に於る病原調査飲料水檢査又は釜山港海岸に於る韓人部落に同病發生の時種々苦心探究せしも其原因を確むること能はざりき而し漁夫の多數虎列剌病に罹るは如何なる原因に由るや黴菌傳染經路は暫く措き先づ彼等の平時生活狀態より研究すれば彼等は常に生水を飲用するの習慣あり當水器は凡て木製にて桶若しくは箱の如きものなれば其の貯水は沽渇する迄數日に及び水質の腐敗せるにも拘らず使用し又第二次の貯水の際に於ても貯水器を清洗するなく水が欠乏する時は直ちに入れ滿れば幾日經過するも是れを替ゆる事なく尙漁夫は其の就業場の位置と飲料水供給の場所と遠隔したるときは近傍の天然池水即ち粗惡水を一時應用に使用するがあり勿論身体の害は云ふに及ばず自然此等の傳染病も起るべし終りに臨んで望らくは根據地漁場として移住民を入るゝには必要條件として飲料水の撰定可及的井水設置は必要である又新鮮なる野菜の供給防寒的家屋の構造等に注意せざる可らず（完）

靜躁昏明

胡麻鹽に離緣

豫備陸軍中佐の韓國通、前の鐵道廳囑托、今の龍山民團民會議長に海津三雄といふ人がある、曾ては右向け左向けの號令を醱酵したる時代づきの爵爵としたる鼻下の八字髭は、去程にサテモ其後此人に溫厚篤實だの穩しい方だのの評を贏ち得て、龍山居留民をして一方ならぬ尊崇を致さしめたのである、然るに此人何を動機の一念發起やら、偲うした偉功ある髭をムザ／＼削り落した、「怎うも子胡麻鹽が目について厭になつたものだから」と海津氏は云ふ、「成程喃、厭だから胡麻鹽離緣、幵が爲めに溫厚篤實の削引も、た優しい方だわの取消もあるまい」と他は寧々に過ぎたる同情を寄せるのであるが、焉んぞ知らん、同情なんどは嗚呼の沙汰なりけり、爾うして欲しいのがありけり、「厭だから」は罪が深しと誰やらが云ふ、去りながら胡麻鹽離緣の若返へりは龍山居留民の爲めに賀すべきであらう。

螢は何故光る（中）

無熱無煙の理想的光揮を放つ　螢の研究

螢は如何して光る　是は餘程込入つた難しい問題で、是非とも螢の發光器の解剖を十分說明した後でなければ、明快に話す事は出來ないのであるが、夫では餘り學術的になつて、一般の人々には解り惡いから此に簡單に螢の光る理窟だけをいつて置かう

極く手近な例であるが、能く小兒が戯みに「一匹の螢を千匹にする」と云つて螢を脚でつぶして地上を引ずる事がある、左樣すると今まで一つしか光らなかつたのが今度は多數の光點が見ゆる樣になる、和漢三才圖會に「其の尻銀色の如し」とあるのがそれである。

其光の點を指に附ける見ると、矢張り光つて居る、指でつぶして見ると光つた糊の樣なものが後に殘つて可なり長く光を放つて居る、若し光りが薄くなつたら、水を附けてまた磨ると再び光る、又能く徒らッ兒が螢を指で摘んで尻だけ外へ出し、其で壁などへ樂書をすると繪でも字でもわり／＼と光つて書ける、又蜘蛛の巣などに引掛つた螢が死んで了つても尙光りを止めて居るのがある、此等の實例から考へると、螢の光るのは發光器中に光輝を發し得る物質が存在して居るからだと考へられる即ち螢の體中には一種の物質が存在して、或る一定の化學的境遇の下に光を發するのである、螢の發光器を調べで見ると、薄い黃色のものである、其表面には薄い透明な硬質な膜がある其下に許多の細胞が規則正しく整列して扁平い光盤を造つて居る、其細胞を見ると非常に細かい黃色の粒で充されて居る、外から黃色に見ゆるのは全く此細胞が透明な膜を通じて見ゆるのである、此細微な粒こそ即ち光を發する原体で空氣に觸れゝば直ぐ光る、尙此物質は多少の水分がなければ光輝を發せない

螢の光りは例の黃色い細微の原質が光るのだと云ふ事は之で分つた、而して螢の自身は如何して之を光らせるかと云ふと即ち呼吸に依つて空氣を其處に送つて酸化作用を起させるのである、例の黃色い細胞と細胞との間には無數の細い空氣の通る管の分布して居て、螢の呼吸の際体中に入る空氣中の酸素は此毛細管を通して遂に發光現象を起させるのである、螢が自由に發光の度數や、長短や光りの出し鹽梅を加減し得るのは、即ち此呼吸作用を神經に依つて制御して居るからで、若し此發光原体を螢の体內から離して自由に空氣に觸れさせるのと始終光つて居る事は前に云つた小兒の惡戯の例で能く證據立てられて居る

折角螢狩に行つて、美しい螢の光りを見ても、其光りが如何いふ理窟から來るか知らずに居ては、一向に無益らない、之れ丈の事は能く了解して置く事が必要と思ふ

日本銘刀傳

第百卅四席　邑井一講演

津田近江之守（卅九）

れさうは妹のれ陽を我が家に呼びまして さ「ア、れ陽や、刀鍛治の助廣親方が是非れ前を妾にしたい、金は幾らでも出すからと云ふのだ、金を取るのが當世だから、れ前彼樣な意氣地なしの夫を捨てゝ助廣さんれ心に從つたが宜いであらうねれ陽や」と言ふとれ陽はなか／＼貞操の女でありますから大層立腹をしまして 陽「姉さん串戯を有仰つては不可ません、夫ある身の妾が何んで其樣なことが出來ませう、夫れは斷然れ斷りを致します さ「ホンにれ前は年をとらないから其樣なことを云ふけれど、小しも餘計金を取つて好い衣服でもした方が好いぢやないか、やう「イエ、夫れは道に違ひます、夫のある身に横戀慕、助廣さんにも似合はないことでございます」れさうは助廣から二十圓の金貰つて居る、今晩妹のれ陽を宅へ泊めますから、今晩宅へ行らつしやいと約束し、二十圓の金子を餌にしてれやうを說得ましたが、れ陽と云ふ女は婦女の道を辨へて居りますから幾ら困つて居ても、婦女の道は破りませぬ、トント謝絶つて逃げて往きましたが後にれさうは、助廣から金子二十圓貰つた事もあり、晩には助廣が來ると云ふ約束を致した事でございますから、あア困つた如何したら宜からうと左思右考頻りに心を痛めて居る中に、日が暮れる間もなく助廣が裏口から這つて來ると、如何思ひましたか、れさうは燈火を吹消し闇黒の所で手を取つて裏口から座敷へ引入れまして、夜が明けて助廣が先へ眼を醒まし、不圖見ると、自分が戀慕つたれやうと違つて姉のれさうと同衾て居りますから吃驚して起上がるや、否や睡て居るれさうの襟髮を取つて押へる、れさうは驚き眼を覺し さ「旦那様面目次第もございません、誠に恐入りました 助「コレれさうさん、能くも／＼、欺し事をしたナ、昨夜れ前に金子を二十圓渡したのは道ならぬ事ではあるが、年頃慕ひしれやうさんを媒介つて呉れると、れ前が承知して呉れたから、れ前に金子を渡したのだ、然に斯う云ふ欺し事をするとは、不都合極まるれさうさんだ昨夜は酷く醉つても居つたし、闇黒の中であつたから、れやうさんだとばかり思つて寢て了つたが、今朝眼が覺めて見ると、れ前が愛へ這入つて寢て居る實に怪しからぬ斯う云ふ馬鹿な事をせられては、私ア人に顔向けが出來ないサア此事には分疏の途があるか、仔細に依つては私も男だ、此儘には訴されぬ如何だ／＼ さ「旦那さん誠に面目次第もございませぬ 助「吾を欺して置いて、面目次第もございませぬもないもんだ私も人に對して面目がない、能くも／＼男に恥辱を與へたな さ「マア如何したら宜うございませう、到底分疏は立ちませぬが、是事には段々仔細のある事若し分疏が立ちませぬければ、貴郎の御存分になりますから、マア一通り御聞き下さいませ 助「サア速く其事を言ひなさい さ「ハイ實は貴君から二十圓拜借を致しまして妹に金子を渡し段々と說得ましたが、飛んでもない返辯で、實は彼の人ばかりは虫が好きませぬと……貴郎の前で申上げましては恐入りますが、虫が好かないから如何な事があつても忌嫌だと言ひまして渡したれ金子を疊へ叩付けて歸らうとしましたが、其時れ金子を取還して了へば、何の事はありますまいけれども若しれ金子を家へ妹が持つて歸りませぬければ、妹に妾が言つた事が發露れますから、妾が如何も妹の本夫に對して濟みませぬし又た陽の夫三藏と云ふ奴は彼ア云ふ粗暴い男でございますから、妾が如何云ふ目に遇ふか知れませぬし、又貴郎を怨んで如何云ふ間違つた事をするか知れませぬから、妹が忌嫌だと云ふのを、無理にれ金子を持たせて歸へしましたが、後で貴郎へ申譯がございませぬから、如何か自分で算段をして、二十圓のれ金子に纏めて貴郎に御返還し申した上で、御謝罪をする心算でございましたが、妹の方でも今直ぐと云つては、調達へませぬし、又假令妾の髓を賣りまして、御返還し申さうと思ひましても、何分急場の事故間に合ひませぬで、マア如何したら宜からうと思案に暮れて居ります所へ、貴郎が一杯機嫌で御出でになりましたから、思案に餘つて一時其場を逃いで、其上でれ金子を調達へ、實は是れ／＼と貴郎へ御謝罪をしませうと云ふ、女の淺い考から……ツイ誠に御申譯がございませぬが、此上は貴郎の御存分になりますから掬つとも突くとも斬るとも御勝手に遊ばして下さいませと、好い加減の事を言つて謝罪まして其場へワツトばかり泣倒れました、

(二) (第三種郵便物認可) 明治四十三年六月十日 京城新報 (金曜日) 第四百廿六號

東京電報

▲皇后陛下行啓

皇后陛下には今九日午前十時三十分御出門濱離宮に行啓あらせらる(九日)

▲在郷將校取締

日露戰役後豫備將校團相當官の數激增し目下各師團を通じ二万五千余人の多きに達したるが近時陸軍將校にして身分を維持し難きもの及將校の面目を損する者益増加する傾向あるより寺内陸軍大臣は憲兵隊又は在郷團長をして相當の注意を與へしめ尚ほ改めざるに於ては本官を免ずべき訓令を各師團長をして在郷軍人團長に與へたり尚ほ在郷將校の注意に就ては長れ多くも實邊に於ては深く御軫念あらせられ特に今回特命檢閲使をして各師團在郷將校一般の現況をも檢閲せしめらるゝ事となりたり(同上)

▲日韓官吏陶汰

寺内統監は凛乎たる方針を於て任に臨み一切の情弊を打破すべく既に此の際官吏の新任は一切に中止を命せり而して愈々官吏分課處屬を定むるは渡韓後なりと尚ほ之れが爲めに一大陶汰を行はん(同上)

▲官吏陶汰方針

新統監の官吏陶汰方針は既に腹案成り別電任用中止の電命は之れを斷行する準備なり而して減員は日韓兩官衙を通じて約一割の豫定なりと(同上)

▲南清暴徒猖獗

最近某所に達したる情報によれば長沙南部湖南に暴徒起り猖獗を極めつゝあり

▲議院建築規摸

議院建築調査會は已に組織せられ目今着々調査進行すると同時に大規模の積極論と消極論と相對峙して猛烈なる舌戰あるべし積極論者にして勝を制する時は永田町首相官邸は勿論其附近一帶の地清國公使館敷地全部も同候補地に編入せらるべきに因り同公使館は早晩他に移轉する事となるべし

▲滿韓調査資料

既報政友會滿韓問題調査會理事小久保喜七松田源治兩氏は小村外相ぞの會見に於て小村外相は機密を守るの口約の下に詳細調査資料に關し説明を爲したるもの左の如し(同上)

一、滿洲に於る日露日清露清條約の内容密約の概略並に滿洲に於る日本の權利に關聯する諸問題
二、米國の滿洲中立提議拒絶後に於ける日米の關係及び同問題に關聯する日露及び列國の現狀
三、近日締結せられんとする日露協約の内容
四、日韓合邦其他韓國に關する諸問題

尚條約に關する書類は四五日中に倉知政務局長より委員に送附すべしと

▲總務長官專任

統監府總務長官に千葉縣知事有吉忠一氏專任せらるゝ事に決したり(同上)

▲木越師團長參內

木越第六師團長は交代歸國に就き十一日午前參內御座所に於て拜謁守備隊の狀況を伏奏すべし(同上)

北京電報

▲革命黨の動靜

清國革命黨首領孫逸仙が目下布哇に在りて軍用金の調達中にて又た領袖黄起は香港、新嘉坡、布哇一帶の黨員を指揮し廣東、廣西雲南方面にて動靜を窺ひつゝあり又た同領袖呉祿貞は上海方面にありて附近一帶を號令して事を擧ぐるの準備中なりとの情報を得大に驚愕の色あり上海革命黨三江軍令部長許爭霸が各國公使に送りし審信に就ては平氣を裝ひ居れるが先帝祭典擧行の爲め西陵に赴くべき載親王は之れが爲めに同地に出發せざる事となれり(九日)

大連電報

▲新聞記者招待

大連に於ける商工業者及び滿洲法人中の實業家は今回內地新聞記者數十名を招待し滿洲各地の視察を乞ふ筈にて目下準備中なるが多分來月頃發程し半分は安東縣より大連に出で他の半分は大連より安東縣に出づる事となるべし尚ほ記者一行は歸途韓國に立ち寄るべし(九日)

紐育電報

▲ル氏駐英大使

紐育通信はルーズベルト氏が駐英大使ベース氏の後任たるべき模様なりと報じタフト大統領はルーズベルト氏にして之を容れんには卓越なるもの同氏に越ふる者なき[illegible]附書せり(八日)

▲伊國又大震災

昨八日午前伊太利各地に大震災あり慘害名狀すべからず震源はカムパニア州アウニリノにて同地方は全部陷落しカリツク地方は死者最も多く死屍累々酸鼻を極む尚ほ其の後餘震至る處喧々として起り人心恟々たり(九日)

雜錄

露國の日本觀光團

昨年夏季に渡日したる露國浦汐觀光團は西比利亞全帶の露國民に非常の好感を與へ本年浦港を始め各地に日本觀光團組織の計畫あり我日本領事館に對し協議を爲す者數多ある由なるが既に組織の決定せるもの左の如しと

一、西比利亞首府と稱せらるゝトムスク市の國立大學及高等工業學校教授助教授以下生徒約五十余名教授サポジンコフ博士團長となり來る八月下旬出發の豫定なり
二、ブラゴエチエンスクの新聞社エホは此程日本觀光團の組織を發表せり右觀光團は黒龍江地域内小學中學等の教員を以て組織せられ專ら各地の視察を遂ぐる筈なり
三、ハバロウフスク在留上流紳士の間に日本觀光團組織の計畫あり此の團體は同地總督の補助ある由にて特に陸軍幼年學校一團參加すべく可なりの多人數に達すべき模様なり
四、哈爾賓に於ける東清鐵道附屬小學校生徒全部修學旅行を日本に行ふ計畫なり今夏の休暇を利用する目的にて頗る多數の團体なるべしと聞く

經濟小言

▲世に圓滿にして敵を有せざる人物尠なからず、而かも惜むらくは此種の人物大概彈力を有せざるれ人好しか若しくは無能者なり故に世人は普通無彈力の人を圓滿の人物と呼び、無能の人を無敵の人物と稱す。

▲頃者頭本元貞君米國より來る、君は札幌農學出身にして有用の材なり、君温顔日一日と故伊藤公に肖來り、抱負亦日一日と大を致す、君内に蹴する所甚だ多けれども濫發せず、而かも彈力を有すれども小事に拘泥せず、圓滿無敵無人の境を行くの慨を示す。

▲故伊藤公統監府を開いて以來幾百千の學者官人、府の御用を承つて來る而かも御用の臭を帶ばざる我頭本元貞君の如きはあらず、君圓滿にして無敵而かも彈力あり、府は君を重用し府の敵は君を尊敬す、斯くして君は其盡すべき任務を盡す、非凡の程推して知るべきなり。

▲君入京以來我官民は勿論在留外人に至る迄爭つて君の爲に歡迎の催を爲す、君にとつて或は迷惑ならんやも知れざれども之を以て君が如何に當地に人望を有せるかを證す。

▲大韓毎日申報某英人の忠言に聽きて排日鼓吹を休業せりと聞ゆ、マアナム意氣地無きが如くにして實は賢なり、統韓政治にして惡しからんか之を矯すは邦人記者の任なり、何を以て英人の彈劾を要せん。

▲普通警察、憲兵警察近々統一せらるべしと傳へらる、半島の現狀は各種機關の不統一を極む、憲兵と警察とは先以て歸一するを要す、寺内新統監己に之を決せりと傳へらる。

●韓國駐在巡査氣風

韓國の巡査駐在所は其の大部分を郡の樞要なる郡衙所在地に置かれ其人員多きは七八人少きも猶三人を下らず受持區域頗る廣漠にして之れが地位を日本の駐在所に比するに遙かに上位にあり其の名は駐在所なりと雖も一郡の治安を荷ひ其實殆んど小警察の形を有するが故に韓國に於て就職せる日本巡査は渡韓當時に於て堅實なる思想と職務に對する趣味を以て志望したる者よりは生活の壓迫に餘儀なくされたる者多きを以て任に就ての後村落僻邑に入るや生存競爭の範圍を脱して生活難の苦痛無く社會の刺戟に接觸するの度甚だ薄く自負心のみ增長し加ふるに監督の普及せざる結果と四圍の風物無味蕭條家庭團欒の快樂無く年久しきに亘り勤むれば遂に一種の惰氣を生じ結局平凡無爲に陷り職務に對する向上の志を失はんとするの病根ある故其の筋にては此弊に鑑み各道巡査の惰氣を警醒して士氣を振張する筈なりと云ふ

●漁業出願と許可數

六月二日現在の免許漁業出願總數は千二百八十二件にして內日本人四千二百四十六韓人四千〇三十六件(日韓人共同の分は其代表者の屬する國籍に依る)にして之に對し許可を與へたるは八百三十一件內日本人三百十八件韓人三百七十九件日韓人共同百三十四件なるを以て出願總數に對する許可數は約一割強に當り不許可件數は總數の約三分の一(二千四五百件)なるを以て現に調査中のもの五千件斗りなるが其內二千件內外は近々處分さるべしと云ふ

●賊徒市場に入込む

去る七日午後八時四十分京義線一山驛より一山市場へ暴徒入込みたりとの報に接し砇山浦分遣所より上等兵二名補助員二名を急派せしめたるに市場の飲食店姜德水方に風呂敷包を持ちたる四名の韓人あり洞民は彼等を强盜なりとて包圍中憲兵等來り取調たる結果拳銃一、彈藥四發、短刀一本を所持したるを以て其場に於て逮捕したり尚ほ八日午前七時滊車にて京城へ逃走せんとする同類一名逮捕せられたり彼等は賊魁延起羽の部下なりと

●排日校の同盟休校

寧邊郡の私立維新學校は頑迷なる儒生の設立したる學校にして時々政治を論ずることすらある由なるが校長韓東喬は過般觀光團に加はりて渡日し歸來日本の文明を賞揚したる所學校關係者の排斥する所となりて辭職したれば前參議某が新たに校長となりて日語科を廢したるに生徒は不平を唱へ七級生二十餘名は去月二十日同盟休校したり此に於て己むを得ず京城より某韓人日語敎師を雇ひて此程漸く落着したりと

●鑛業出願と手數料

去る五月中に於ける鑛業及砂金採取出願は總件數百十八にして內金鑛五十一砂金採取二十九鉛鑛十三銅鑛十一を重なるものなり而して同月に於ける總手數料は一萬六千三百八十八圓にして鑛業出願の八千九百圓同許可登錄の四千百圓砂金採取出願の一千五百圓等其の主なるものなりと

●各學校組合の認可

瀨戶口秀彥外百六十四名申請の統營學校組合長島綱吉外百二十三名申請永登浦學校組合細田左代吉外五名申請錦山學校組合大野彥三外四十四名申請三千浦學校組合鈴木林次外三名申請古阜學校組合杉甲一郎外二十六名申請巖岩里學校組合は何れも六月九日付にて其筋より認可せられたり

●警察方面會議日程

警察部長聯合方面會議は既に松井局長の訓示及各部長の管內狀況報告を了へ九日は左の三項に對し諮問會を開けり

一、警察職員配置定員變更に關する意見及現在配置職員の定員を以て適當に配置する方法あらば其方法
二、巡査給助令
三、巡査宣誓式執行規程

●社告

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺内陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

統監更迭紀念號

▲紀念號發行日 來る六月廿五日

▲記事の內容 韓半島に關する名士の談論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數と發行部數 約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず

尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月 京城新報社

●注文津埋築と紛擾

江原道江陵郡注文津附近は港灣に乏しく注文津の北方に一小灣あるのみにして同地方出漁船の唯一繫船場なるに今回同地の廻漕業者等は同所を埋築して荷揚場とする計畫を立てたる爲め目下同地方の居留民間に大紛擾を起しつゝ有

●早稻田大學校友會

在京城早稻田大學校友は來る十一日午後六時より花月樓に於て校友幹事務局保案課長玄角仲殿氏の歡迎會を兼ね懇親會を開く由出席希望者は京城理事廳內永野氏へ申込むべしと

●憲兵隊の重要會議

憲兵隊本部に於ては各分隊附將校(副官)を召集し重要問題に關する會議を開く筈にて召集されたる將校は十日京城に來集十一日より會議に移る由也と

●開城の日語研究會

開城韓人の有志等は同地三仁學校內に日本語研究會を設けたりと云へり

●俵副總裁の招宴

俵土地調査局副總裁は九日午後六時同局員五十余名を京城ホテルに招待し晩餐會を開く由

●服部暢氏の消息

大阪朝日新聞奉天特派員なる同氏は今回同社を辭し滿州日々新聞社に入ることゝなりしと

●江副靖臣氏出發

滯京中の佐賀新聞社長江副靖臣氏は九日朝安東縣へ向け出發し十三日頃引返し入京すべしと

●村田技師令閨訃

列項歐米出張を命せられし農商工部礦務課長村田素一郎氏の令閨は九日朝死去せり葬儀は十日午前三時南山本願寺に於て執行の筈

移住韓民の窮苦

清國は鴨綠江沿岸の自國領を經營せんと欲し大に韓民の移住を奬勵し現に移住民に對し特別の恩典を施せるより邊境所在の韓民は之に誘致せられて移住を企つるの勢を釀もし既に三萬餘の多きを算せらるゝに到れり之が爲めに所在知縣は今更の如く此政策の謬れるを悟り茲に嚴重なる韓人取締規則を設定し保護奬勵は愚か寧ろ苛酷なる取扱を爲し目下の處にして純然たる排韓傾向を帶ぶるに到れり隨て移住韓民は清國の爲めに欺悶され殆んど塗炭の窮苦に陷れるの現狀を呈せるより彼等も亦其早計を悔ゐ此頃孜りに本國官憲へ泣訴し來り居るが之を取締るは素より清國の自由にして如何ともする能はず然れども移住の動機は則ち清國の作せる所なれば餘り苛酷の取締を爲すに於ては之を閑却し難きを以て相當調査を遂げ同國の反省を求むべく故に該問題は近く日清外交上に累を免れざるべしと

●五月中三銀行金融

京城日本人商業會議所の調査による日本側三銀行即ち第一銀行十八銀行百三十銀行等合せし五月中の金融狀况を示せば左の如し

▲預金の部	
四月分計	五、一一八、七二四
五月分計	四、一一六、〇六六
差引減	一、〇〇二、六五八
▲貸金の部	
四月分計	二、六四四、二九九
五月分計	二、五二〇、三七九
差引減	一二三、九二〇
▲金銀出納の部	
四月分計出金	一二、二二三、三三四
五月分計出金	一一、六三〇、九七三
差引增出金	四一七、七三九
以上出金の部	
入金の部	
四月分計入金	一〇、九五二、八四八
五月分計入金	一一、六二七、七四一
差引增	六七四、八九三

●北韓の飢饉と豐漁

去る四日發其筋に達したる公報に依れば江原道三涉附近の韓人は一ヶ月前より食物に窮し草根を採取し或は草葉を摘みて少量の粟又は麥を混じて飢を凌ぎ居るが昨今に至り其窮狀特に甚しく未だ熟せざる麥を刈りて粥となし居り三涉郡府內面島飛洞の如きは窮乏の餘洞民の多くは多郡へ移住しつゝあり之に反して同地海岸に近き住民は去月末より鰯の大漁ありて海面全部に亘り二週間に瀰さる間に於て數千圓の漁獲ありて一同非常に悅び居れりと

●仁川商會選擧競爭

仁川商業會議所議員半數改選は來る廿日を以て執行せらるゝ筈なるが日一日と切迫するに連れ意外なる邊より新候補者打つて出でんず氣配にて各々振臆して其期の至るを待つもの如く而して同會議所に於ては九日選擧名簿を附して橋本副理事官に認可申請を爲したるが選擧委員長には岩崎民長任せらると

●米國大學總長來着

米國オバーリン大學總長キング氏は九日午後八時十分京釜列車にて南大門驛着入京バンカー氏宅に滯在し十日基督教青年會館に於て一場の講演を試み同日午後四時半よりターナー僧正の頭本氏歡迎會に出席十一日朝出發清國山西省に赴く由

●澤田地方局長歸任

澤田內部地方局長は郡主事四十名增聘の爲め東上せしが俄かに新統監より官吏新任一切中止の電命ありたる爲め折角の東上遂に無意味に歸し今明中に東京出發歸任の旨公電ありたりと

●松永師團長の出張

第二師團長松永中將は黄州、平壤、安州及び宜川に於ける守備隊隨時檢閲の爲め來る十三日より一週間の豫定を以て同地方へ出張する筈なりと

●李學相一行の消息

李學部大臣一行は昨九日午前九時五十一分新義州發の列車にて平壤に向ひたる旨其筋に通知ありたりと云ふ

●村田技師歐米出張

農商工部鑛業課長技師村田素一郎氏は今般鑛業視察の爲め歐米各國及び英領印度等へ出張を命せられたりと

●中村旅團長の消息

中村旅團長は九日水原を經て成歡に至り同地に一泊の上十日平壤に歸任

●武田鑛業所長入京

平壤鑛業所長武田海軍少將は九日午後六時三十分南大門驛着にて入京せり

●渡邊派遣隊長來龍

臨時派遣隊長渡邊少將は十日來龍す

公人私人

△伊藤厚太郎(百三十銀行鎭南浦支店長)入京の所八日鎭南浦へ
△西川勝藏(韓國牛疫所長)同釜山へ
△小川顯次郎(島根縣水產組合副組長)八日入京浦尾へ
△和田駿太郎(副組長兼幹事)同上
△加藤懲太郎(同評議員)同上
△胡谷爲五郎(同上)同上
△梅田岩樹(步兵少佐)同巴城舘へ
△大庭米三郎(仁川裁判所判事)佐藤へ

▲治外法權▼

今度の日露協約で半島は愈我物になる事になると、チン、チン…『我物と思へば輕し傘の雪』ドンナ重荷でも擔つて開發に掛らう▲サア之からは合邦にするか合併にするかが問題だ、一度幕を下したら兵れせ[illegible]發にしたい、モー一度モー一度は實にウルサイからね▲新統監に向つて韓人各政黨から御用引受を申込んだソウだがドレも斷はられたソウだ、成程今となつては一視同仁に限る、政友會だ、進步黨だ、一進會だ、大韓協會だと名乘つたところが楽々ヨボゴロの小團に過ぎぬコレ等の小團に眼を呉れぬところが寺内入道の見識だ▲釜山瓦斯株が本家本元の釜山で人氣の好いのは當然の事だ、併し京城は兎に角大阪でも東京でも一向人氣に乘らぬ樣だ、旨く行かなかつたら釜山の面目に掛る、左樣でガスかなど駄洒落ては居られぬ▲田口光濟艦長どやらは好い氣になつて支那密漁船追拂績を自慢らしく喋つて居るがコンナ頭の單純な連中には甚だ困まる、今にどんなシッペ返しが來るかも知れぬ▲國民新聞所載京城電報に曰く新統監披露大園遊會開會、統監更迭紀念ハガキ發行の事に決すとコンナ愚電もハリガネを通つて行く▲馬來諸島の王は絶体專制君主だ、臣民若し美婦人を有せんか其妻たると娘たるとに論なく王命があれば後宮に入れる▲神戶商業會議所役員や市役所高級吏員が賭博でつかまつた、時に因れば我京城でも會議所議員の片割があるもので賭博を常業の如くして居る向があるソウだ其筋ではナゼ檢擧せぬか



京城の裏面(二)

濡手で粟慾脱裏(三)

原田が傭ひ入れたる人夫間に紛擾起れりとの報に接し急ぎ津城を差し遣はしたる丈け其所に疑ひを挾むべき餘地なき筈なれども川合は津城の行動に疑念を抱き他人と共同し只管個人が他人と共同して恐れ自家に引き付けんとする事を恐れ楠本(當時)川合は津城等に對し通譯に依頼し山崎と一方には山崎喜一は楠本が事を爲し其の計畫を進行し居れり(通譯)……製材器械(其他)の發明に從事中にて役所へ一手販賣を托すとの口約をなし誓約書を入れしめ一躍成功の曉は楠本にも其の利益を分つべしとて秘密を漏らさゞる様に約束し津城も落ち合ひ住所氏名を書き與へたるが新聞の端に……

り此れ又慾に目のなき山崎は機械の發明は其所退けにし川合楠本等には

秘密に人夫募集

に着手したることを觀破しければ斯くて津城は恩誼を無視し顔を合す事も無く行けり此れより先世話になり居る時北島新三郎と出會したる際目下人夫供給事業に從事し居れば貴様も何れ使雇すべし夫に付目下の住宅は手狭なれば電話付の家屋を借りて借る家はなきも北島も又々此を借用し主人の如く振舞ひ東洋亭(か)の酌婦を傭たる金錢迄立替へたることあり夫れは扨置き川合方に在りては津城と共同募集したる韓人夫等押し掛け來り全体何日頃出立する都合なりや我れは應募して既に五日を空費したり我れは之れに應募したる爲め以前從事したる職業に放れたり如何になし呉るにや、團体を組みての大談判も屢々なるに津城が姿を見せざれば解決の途なく困り果てたる折も折津城は自分等を袖にし潮に山崎と結托し前記の計畫を遂行し居るを耳にしたり(續)

石油を浴びて自圖る

▽良人の暴言に逆上して

長崎縣人當時本町二番戸家村郁之助は本町五丁目の某商店の手代なるが持て生れた飲助にて酒癖惡しく飲めば必ず內縁の妻永富しげ(三二)に難題を持掛け亂暴を働くよりしげは末の見込なしとて入れ離別する事になりしより歸國旅費金二十圓を貰ひ受けたる儘内地には歸らず黄金町の某所に下女奉公なし居るより家村は立腹し歸國せざれば二十圓を返せと迫りたるに何ら話しが纏まるものが結局再び同居する事になりしに相變らず醉狂は止まず八日も飲酒ししげを捉へて醉狂の揚句五十圓にて淫賣に賣り飛ばすぞと怒鳴りたるが之れを聞きたるしげは逆上し一合余の石油を頭部に浴び火を付け頭髮半分以上を焼き其の他頸及肩胛に火傷を生したる騒ぎに警官出張醫士をして應急手當を爲さしめ一方家村に對しては嚴重に說諭を加へたりと

女振り

山口太兵衛氏令孃 山口たか子

山口太兵衛氏は鹿兒島縣人で泥峴街在留民間の耆宿で當地第一流の實業家であることは讀者の先刻御承知の事であらふ、たか子さんは本年二十一であらるゝと聞く、三輪田眞佐子女史の經營せらるゝ東京の同女學校出身の才媛である、多く學校を出た人を紹介するには女ならば才媛男ならば秀才と號する、此れが頗る怪しいもので才媛秀才必ずしも才媛秀才でないと云ふ滑稽は間々ある、併し我が女振り子の夫れは決して間違ひではない、と威張るのには證據がある現在たか子さんは同校二百有餘の同期卒業生中最優等であつた、と丈けでは未だ承知出來ぬとならば此所に斯う云ふ立派な證據がある、たか子さんにたき子、たみ子、たね子と云ふ姉妹御が三人と武夫さんと云ふ弟御がある、たき子さんは當地高等女學校の二年生でたみ子さんは尋常六年生、たね子さんは尋常四年生、武夫さんは尋常二年生である、唯夫れが有つた丈けでは何にもならんと云ふ人があるかも知れぬが話は終まで聞くものだ、此の四弟妹の家庭に於ける敎養は即ちたか子さんの掌る所である、而して夫れが又悉く背縈に當ると見へて揃ひも揃ふて品行から學術まで何時も優等である、一つは其のれ子さん達の天禀もあらふが夫れだと云つてたか子さんの功勞を無視する理由には行くまい、たか子さんの如きは眞に活きた學問をしたものと云ふべきである。

猛虎人を襲ふ

▽咸平守備隊の虎狩り

全羅南道咸平郡海保面山安里佛甲山に近來猛虎出沒し山麓の居住民は非常に恐怖せるが其の爲め犬豚の被害夥しく過日は韓人二名毒牙に掛りて非業の最後を遂げ一名は生命の危き重傷を負ふに至り近傍の村民は何れも生たる心地せず晝間は戸を閉じて外出せざる程なれば此程重なる者擬議の上咸平守備隊に保護を願出でたるにぞ同隊にても捨て置かれず彼等の禍根を絶つべく近日壯快なる虎狩をなさんと目下準備中なりと十文字の鎗に勇を振ひし清正公の昔を偲ばれて肉躍るの感あり

廣梁灣

▽淸人の脫囊が端緒

淸韓人爭鬪詳報

廣梁灣鹽田工場に於ける淸韓兩國人の大爭鬪事件に就ては過日電報欄に掲載する所ありたるが今更に之が詳報を記せんに六月二日午後七時頃一名の淸國人夫は附近韓人所有の畑中に於て脫糞し居たるを一名の韓人は之を詰責したるより双方口論を始めたるを端緒にし次第に喧嘩に花が咲き見る〳〵韓人側にては七百名淸人側にては三百名都合千名の人夫は或は棍棒を或は石礫を以て集り來り茲に由々しき一大爭鬪を見るに至り終に双方二手に別れ盛なる石合戰を始むるに至りたるものにし右の爭鬪時間は二日午後七時より三日午前二時頃に亘りたるが之が爲め韓人人夫一名は面部に投石せられて負傷したるも幸に多數の負傷者を見ずして鎭定せりされど右の如く爭鬪を敢てするに至りたる原因に就ては今回は些細なる事に起りたるも彼等淸韓人は久しき以前より相反目し居り何事か機會あらば双方に於て相爭らさんと心構へ居たる事なれば何れ今後共再大爭鬪を惹起すべく形勢見ゆ頗る不穩なるものありと云ふ尙右に就き同地度支部出張所長赤倉書記官は淸韓兩側に於ける重なる者を招喚し今後再斯かる不穩の擧に出ざらむ樣懇々嚴重に說諭を加ふる所ありたると共に更に一面に於ては同地に於ける憲兵警察官等は今尙彼等の擧動に就き大に注意警戒しつゝありと云ふ

團平船の沈沒

▽損害一千圓内外

昨日午前五時頃團平船東洋丸は目下仁川に碇舶中の汽船巴丸より日韓瓦斯會社行の石炭五十屯を積載し麻浦に廻送すべく小月尾島附近に投錨中流潮激しかりし爲め同船は沈沒したるが損害は一千圓内外なるべしと云ふ

西部署の大賊捕縛

▽棚橋刑事の手柄

八日西部署棚橋刑事の手に捕はれたる福岡縣早良郡原村字七隈千七十番戸士族力丸安雄(三二)と云ふは曾つて同刑事が北部在勤中同管内に於て逮捕し二月三日地方裁判所にて懲役三ケ月を申渡され去る五月三日永登浦監獄を出獄するや四日入京五日下仁花町某方外數ケ所を荒し龍山に立ち戻り駐劄軍將校官舍外四ケ所を襲ひ越ゑて五月十四日西大門外鎮漁官舍十八日吉野町大塚泰

次郎方二十日初音町内部主事入木及西小門外稅關官舍丸山建太郎方等其他數十ケ所に忍び入り盜取したる金額は數千圓に上れり臟品は各所に入質悉く酒色に費消したる者の由なるが連累者ある見込みにて目下嚴重取調中なりと

店員評判記(十)

圓城吳服店々員 小林勘次郎君

店主圓城安次郎氏は勘次郎君の叔父に相當する、江州彦根の產である、由來江州商人は進取の氣象に富み且つ機略縱橫の策を弄する、從つて下れ人好じにして而して口惡の江戶ッ兒に近江盜賊なろと酷評せられた、併し之れは商略に負けを取つた口惜しまぎれの負け吝みに他ならぬ、現に東京に於ても近江屋なる暖簾は伊勢屋に次で多く見掛けるが夫れは悉く堅實なる大商人である、勘次郎君は其の近江商人の血統を正統に亨け繼いだのである、機敏ではあるが辛辣な所はない、明治三十九年七月招かれて渡韓同店經營の樞機に參與する事になつた、同店今日の繁昌は君の手腕は負ふ所多しとの事である、曾つて同業朝鮮日報主催の模範店員投票に際し三等を以て當選した、本年二十五歲、自重自選大成を晚年に期すべきである。

●食ひ付料二十日

大坂府泉南郡孝子村八百十番戸當時大和町一丁目二百三十三番戸安永春吉方大工職野間茂吉(三六)は六月九日午前三時頃竹園町一丁目飲食店致弘方前道路に於て祭成龍(三三)に對し喧嘩を吹き掛け祭の右腕に咬み付創傷を負せ銅峴分署に訴へられ拘留二十日に處せらる

●牛車の過失傷害

九日午前十一時頃永樂町二丁目に於て東大門外牛車輓金完成(三五)は石材を積載したる牛車にて韓童點乙(三き)を轢き一時同人は人事不省に陷りしより即時山本醫士に連行き應急手當を施さしめ金完成は南部署に引致過失傷害罪として取調中

●不得心な阿母樣

竹園町一丁目三十四番戸料理屋山田喜太之丞の長男六才の子供が街路に放尿し居るより憲兵は注意を試みしに山田の妻出來り子供の放尿にいらぬ世話なりと暴言吐くより筆洞分遣所に同行の上不心得を說諭し放還さる

●氷販賣業に諭達

仁川警察署に於ては向暑の節に入ると同時に飲料水に對する嚴重なる取締りを勵行せし由は既報の通りなるが尙は市內に於ける氷販賣業者を一昨日同署に召喚し飲料に適する氷と同じく不適のものとは同一業者にて販賣せしめず換言すれば飲料氷と冷藏氷とは各營業者を異にして販賣せしめ以て衛生上の危險なからしめんとて夫々諭達したりと云ふ

●物騷なる京畿道

古市町石田庄次郎は陸軍米穀并に馬糧用達業なるが雇人朴春根を高陽方面に米買ひに遣したるに高陽邑より一里手前に於て暴徒に會ひ所持金强奪せられ負傷を受け歸京せるより本町分遣所に屆出づ

●行賞金は不用か

京谷龜太郎は工兵一等卒として三十七八年役に從軍し戰功ありし者なるが未だに行賞金の請求を爲さず且つ居所不明の爲め處分に困り居れるを以て京谷氏は遠慮なく京城理事廳に申出づべしと

●微笑會例會

十日午後四時三十分より初音町二丁目臨濟禪寺に於て圓山大嶺師の例會講演あり參聽隨意

●仁川雜事

仁川楸林洞居住の高元日は一昨日新町三丁目にて木村と彫刻しある水晶印を拾得仁川署に屆出でしが心當はなきや▲仁川敷島遊廓に於ける先月中の嫖客數は千百五十人にして此の消費高は僅かに四千二百七十三圓なりしと云ふ▲仁川花房町居住の慶田組艀船夫上守由助と云ふは昨日午前一時より同三時迄京町二丁目飲食店平尾カツ方にて大散財を爲したるがさて勘定の段となるに及び懷中無一文なりしかば其筋に突き出され說諭の上示談放還したりと

目と耳

▲五雲會 同會四十二回例會は十九日午前十時より大和町三丁目梅の家に於て開會すと其の番組左の如し
鄲(中田氏、大臣志賀氏、熊谷氏)大江山(武川氏、鏡氏、ツレ山小竹氏、ヒトリ加納氏)三輪(池田氏、兒島氏)忠度(寺岡氏、本田氏)胡蝶(三浦氏、安西氏)砧(松田氏、ツレ澁谷氏、水越氏)天鼓(吉住氏、波多江氏)

▲京城座 十日の替り狂言は前夜の續きにして「不如歸」の下なりと云ふ

▲壽座 十日の藝題は舊劇に仕組まれたる「不如歸」にして曾つて大阪八千代座に於て中村芝若、嵐德三郎等が演じたることあり當地にては未だ一度も上場せられたることなしさ 山木兵藏(翫若)妻浪子(正三郎)加藤の娘千鶴子(內匠之助)下男助作(三之助)加藤妻れせい、千々岩友彥(翫太郎)乳母れいく(九十郎)川島武雄(竹三郎)片岡中老、川島老母(大谷)

▲御成座 同座人形芝居十日の替り藝題は前「源平八島合戰」五段目義經陣屋の段迄切は「壺現靈驗寺」

▲桃川若燕 初川大入札止を爲したる仁川歌舞伎座同一行十日の番組中重なるものは如燕の堀部安兵衛高田の馬場より盟入まで及び旅順攻擊軍中の中村將軍等なりと云ふ

今日の運勢

六月十日舊五月三日七赤先勝 ●午 建△一白 小事は可大事凶●新事に凶建築農業に吉△二黑 家族家庭內に煩累あり其他盛運なり△三碧 交際取引上間違多し遺失盜難を防ぐべし△四綠 總して厄運日なり新事見合せの事婚姻及共同組合に吉△五黃 貸借保證事を忌む要求懇願あり△六白 轉業改革模様替探險行商に吉商買には金錢證券上の紛紜起り易し△七赤 新事見合せの事相談委托契約請願等効薄し△八白 親疎の者より損害失費受け易し其他平凡△九紫 沈衰の日新事及改易の事凶旅行貸借相談依賴効なし(本町五丁目三一館判斷)

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

廣告

一鴨緑江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多数所有致し居候に付
特別安價に賣却仕候間御望の
方は御來談被下度願上候

建築業 柴田芝六
京城旭町三丁目 電話五百六十八番

表具部開業
襖額屏風天井壁張及表装一切
並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄
眞光小太郎
電話(五六八)

★株式會社百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番地 電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干
南海道 牛志、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 久留米、若津、中津、小倉、若松、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、入幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
清國
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

緊急廣告
◉景品附賣出期間本月十一日迄
◉景品は各商店に陳列す
餘日切迫に付此好機を逸せられず陸續御購求希上候
和洋金物商
韓國京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番電信略號「ク」
振替貯金口座韓國二五六番

諸官衙御用達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委托販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]合資會社[illegible]特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 十番地電新橋三六九二

資本金壹百萬圓
大阪火災海上運送保險株式會社(本社大阪東區備後町)
京城代理店
官製煙草元賣捌店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農産種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木
觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外鷺島
興國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戸
三輪商會
電話三八六番

増築御披露
京城南大門通三丁目光宣門側(電話一三八二番)
御待合 紅葉
四方粋客様方の御引立に預り手狭を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も増加殊に浴室の設備も致し何時にても用意罷在申候間不相變御枉駕の程奉希上候

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬大賣出し

明治廿年七月創立
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣、新義州
韓國銀行
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊
清國 義州、大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京
其他 漢口、上海
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(二圓八十錢)
三等(一圓五十錢)

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

滋養と牛乳
衛生と消毒
馬車配達
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹六九〇番

易斷觀相 數授 館主
京城本町五丁目
三一館
土御門派大陰陽師

入院 内科 小兒科 外科 梅毒淋病 隨意
京城壽町三丁目
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
高井醫院
電話(二六)

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市濱町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

大日本麥酒株式會社最新釀造
瓶詰にせる液体のパン
ミユンヘンビール